

陳情第107号	受理年月日	平成30年9月25日
付託委員会	保健病院委員会	
件名	子供のインフルエンザワクチン接種の公費助成と高齢者肺炎球菌ワクチン接種の助成の拡充について	
要旨	<p>少子・高齢化が進行する中、市長は公約で、人にやさしい高齢・少子対策の加速を掲げ、健康で長寿の社会づくり、新型インフルエンザなど危険性の高い感染症の流行を防止するため、感染症対策の充実、強化を図ることとしている。</p> <p>健康長寿社会の実現には、高齢者や子供の貧困への施策を充実させ、全ての市民が健康長寿を全うできるようにすることが求められている。経済的理由等で予防接種が受けられない事態はなくさなければならない。</p> <p>インフルエンザの流行時期には、子育て中の親は学級閉鎖や看病のために仕事を休まなければならないなどの困難に直面し悩んでいる。接種費用の負担も過重で、経済的理由で予防接種ができない子供をなくすことは自治体の役割であり、予防が進めば、医療費削減にも寄与すると思われる。また、平成26年10月から高齢者用肺炎球菌ワクチンの定期予防接種が始まったが、自己負担額は4,300円である。自己負担額が少なければ接種率の向上や医療費削減効果も大きくなる。近隣の自治体では2,000円以下の自己負担で接種できるところもある。</p> <p>については、下記のとおり措置していただきたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子供のインフルエンザワクチン接種の公費助成を行うこと。特に、生活保護受給家庭、母子、父子、多子家庭、就学援助受給家庭等の子供に対する公費助成を早急に実施すること。</li> <li>2 高齢者用肺炎球菌ワクチン接種の公費助成を拡充し、自己負担額を3,000円以下にすること。</li> </ol>	